

事業継続マネジメントを支える **Ruby**

TIS株式会社

IT基盤技術事業本部 マネージドサービス部

林 伸哉 川上 晏早美

社名	TIS株式会社 (TIS Inc.)
創業	1971年4月28日
設立	2008年4月1日
資本金	100億円
本店	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目17番1号
従業員	連結:21,765名 単体:5,970名 (2025年3月31日時点)
売上高	連結:571,687 百万円 単体:259,155百万円 (2025年3月期)
主要取引銀行	三菱UFJ銀行, 三菱UFJ信託銀行
上場市場	東証プライム市場 (3626)

未来の景色に鮮やかな彩りをつける “ムーバー”となることが、 わたしたちのミッションです。

TIS株式会社 代表取締役社長の岡本安史でございます。

今、世界は大きく動いています。昨日まで想像しえなかった事が現実として起こり、不確実性の波が私たちの社会にこれまでない変化を促しています。このような中、多くのビジネスリーダーが、企業価値の最大化、持続可能な社会の実現に向けて、今まで以上の強さとしなやかさを身に付けるべくDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組んでいらっしゃいます。

当社グループは、創業から50年以上にわたりITのプロフェッショナルとして、あらゆる業種・業界のお客様へコンサルティングビジネス、システムインテグレーションビジネス、サービスビジネスをご提供して参りました。中でも近年は、4つの社会課題「金融包摂」、「健康問題」、「都市への集中・地方の衰退」、「低・脱炭素化」に注目し、進化し続けるデジタル技術を駆使した課題解決に向けてまい進しております。

今後も当社グループは、基本理念である「OUR PHILOSOPHY」という共通の価値観の下で、“未来の景色に鮮やかな彩りをつけるムーバー”となることを目指して参りますので、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

岡本安史

危機管理情報共有システム「Bousaiz」のご紹介

事業継続マネジメントをDX化する、災害情報共有システム



危機管理情報共有システム Bousaiz ボウサイズ

- 参集確認
- 災害掲示板
- 被害状況集計
- 地図機能



災害種別	発生時刻	発生場所	被害状況	対応状況	備考
地震	2022/05/16 14:00	東京都	被害発生	対応中	
火災	2022/05/16 14:05	東京都	被害発生	対応中	
水害	2022/05/16 14:10	東京都	被害発生	対応中	

参集先	参集時刻	参集人数	参集状況	備考
東京都庁	2022/05/16 14:00	100人	参集済み	
東京都庁	2022/05/16 14:05	100人	参集済み	
東京都庁	2022/05/16 14:10	100人	参集済み	



起こりうる様々な災害を想定内にする

事業継続マネジメントをDX化する為に必要なこと

様々な課題がある中で、事業継続マネジメントをDX化し、その実効性を向上させるためには、様々な要素を兼ね備える必要があります。



自然災害

首都直下地震、南海トラフ地震、富士山噴火等、大災害に対する備えが盛んに議論されています。
東京都が2022年5月に公表した首都直下地震の被害想定では、直接被害額が21兆5640億円にも及ぶと予測されており、その被害影響度は甚大であることが示されています。



感染症

新型コロナウイルス感染症による、世界的流行（パンデミック）により未曾有の経済停滞にさらされたことは、記憶に新しいところだと思います。
ロックダウン（都市封鎖）や営業自粛に伴い、国境を越えるサプライチェーンの途絶も発生するなど、BCPにおける対応項目として認識しておくべき必要があると理解された企業も少なくないと考えます。



事故・テロ

ロシアによるウクライナ侵攻や、北朝鮮からの度重なるミサイル発射など、紛争やテロによって業績が悪化したり、世界経済が停滞したりするなどの、地政学的リスクを感じる出来事が増えています。
自社で起こした生産事故や、サプライヤの事故による供給のストップにより、生産停止を余儀なくされるなど、事故やテロによるリスク回避も重要な項目となっています。

事業継続マネジメントをDX化するための課題

- ✓ BCPにおいて何をすればいいが明確になっていない。
- ✓ マニュアル上は、本部への参集が必要になっている。
- ✓ グループウェアやチャットでは、情報を整理しきれない。
- ✓ 店舗や製造拠点等が複数あり情報の集約が難しい。
- ✓ 施設、設備の管理と事業部門の両方の状況を把握したい。
- ✓ サプライヤーや、工場、商業施設（ビル）の状況把握が必要。 ...等

導入事例はこちら→ [導入事例 | Bousaiz](#)

20年前から、企業向けサービスを提供

Why?

「高い生産性と、高品質なアプリケーション開発が可能」



非公開

グループウェア
(ソーシャル機能の応用)



グループウェア
(社内ソーシャルウェア)

サービス終了！



危機管理情報共有システム
(BCPマネジメントプラットフォーム)

2008年 リリース

スケジューラ・報告書・Wiki・ブックマークといったコンテンツの内容や、検索履歴、付与したタグ(ラベル)の内容や頻度など、ユーザーの多様な活動内容を統計処理し、独自のアルゴリズムで解析することにより、社員の専門性、人脈ネットワーク、業務への注力度などを把握することが可能。

2009年 リリース

次世代型グループウェア「ナレジオン」は、高度なソーシャル機能を活用して、社員の交流の“場”となるコミュニケーションポータルです。
点在する様々な情報システム、ファイルサーバ、業務システムを統合しすべての情報起点となる情報共有プラットフォーム。

2014年 リリース

「Bousaiz」は、災害情報の発報と連動した参集確認から、災害掲示板を通じたリアルタイムな状況の把握、画像や地図情報の共有など、災害時の状況判断に必要なさまざまな情報の一元管理・共有化により、迅速で正確な初動対応の実現を支援するクラウド型危機管理情報共有システム。

テーマ： 効率的な情報共有の為に、ソーシャルメディアが持つ機能性をBtoBへの移植する。



川上 晏早美

TIS株式会社
IT基盤技術事業本部
マネージドサービス部

2007年～ 金融系システムの開発、自社内システム保守

2009年～ ナレジオンのカスタマーサポート担当

(Rubyとの出会い)

2014年～ Bousaizのサポート担当

2017年～ Bousaizの開発担当、リーダー



かわかみ @kota_syan

Rubyist

- ・短期オンラインスクール(2015/8～2015/10)
- ・フィヨルドブートキャンプ(2019/06/11～) 休会中

- ・RubyWorld Conference (2019/11/7～)
- ・Kaigi on Rails(2020/10/3～)
- ・RubyKaigi(2022/9/8～)
- ・Asakusa.rb Member(2022/10/20～)
- ・KeebKaigi 狭ピッチトーク(LT)
- ・中央総武線.rb Member(2024/7/4～)
- ・TokyoWomen.rb #1 Organizer (2025/3/1)
- ・PicoPicoRuby Member(2025/3/1～)

- ・技術書典19「フィヨブーフアンブック」頒布(2025/6/1)
- ・RubyWorld Conference 2025登壇 ←NEW!!!

- 2009年3月、Rubyで開発された「ナレジオン」の1人目のカスタマーサポートとして参画。
- 当時のSIerとしては珍しい、ガラス張りのプロジェクトルーム。ホワイトボードがあり、背中合わせでいつでもペアプロできるスタイル。
- たのしそう/いきいきしている開発チームへのあこがれ。

- お客様の要望を簡単に取り込めないもどかしさ。
 - この要望、なんとか実現できないか？
 - そもそも、どのくらい対応が難しいものなんだろう？
 - 私がRubyを書ければ、自分の手で要望を実現できるのに・・・

- 2014年、産休育休から復帰すると、Bousaizという新しいサービスが生まれていた。2つのサービスのサポートを担当することに。
- 自分の仕事人生がもう長くないことを悟る。
- 本当にやりたいことは？
 - 子供時代のプログラミングが楽しいという原体験。
 - 新人時代の開発プロジェクトの充実感。チームでものづくりする喜び。
 - 子供に楽しそうに仕事する、いきいきした姿を見せたい。

私は、開発がしたい！！！！

- 育児しつつ独学で学ぶことは、かなり困難。
- 短期集中型スクールで学び、ことあるごとに「開発したいです！」とアピール。
- 念願叶って、2017年7月頃から少しずつ開発に入らせてもらえるように。
- 「Railsなんもわからん・・・」

- 動いているけど、なぜそれが動いているか、分からない。
 - 仕組みが分からないので、不安しかない。
 - コードを書く時間もなかなか取れず、理解は進まないまま…
- 2019年6月にフィヨルドブートキャンプに入門。

- Rubyの言語としての良さ、コミュニティの良さに助けられた。
- 言語としての良さ
 - コードが短く書ける、読みやすい。
 - Ruby/Railsのエコシステムを活用できる。
 - 書いていて楽しい。楽しいことに価値がある。
 - 好奇心を刺激される、奥深さ。
 - まだまだ進化し続けている。



- 初めてのカンファレンス参加は、RubyWorld Conference 2019。
- 開発チームの皆さんがいなくなるイベントがどんなものか、興味があった。
- レセプションで、ぼっち飯。
- 勇気を出して「RWC堀川地ビールの会」に参加。
- はじめてRubyistの皆さんとゆるやかに交流できた。

- Rubyコミュニティって温かい。
- Rubyistの皆さん、たのしそう！
- Rubyって愛されてるな～。
- Ruby City MATSUEってこういうことか。
- これが、RubyWorld？

- RubyKaigi 2022で初めてin-personのRubyKaigiを体験。
- 何もわからないのに面白い。どうして？
- 「これがRubyKaigiか…、そりゃ皆いなくなるわ」と妙に納得。
- 世の中には、すごい人がゴロゴロいる。
- 懇親会ですごい人と直接会話もできる。
(目の前で @tompng がしゃべってる！実在してるんだ！)
- 「Rubyに対して単なるお客さん以上の気持ちを持っている人がRubyist」

いつの間にか、Rubyコミュニティの良さにハマってしまっていた。

Rubyコミュニティの良さ

- 皆、楽しむのが上手。
- 皆、Rubyの話をする時、たのしそう。
- 皆、好奇心旺盛。Rubyだけじゃない。色々なことを知っている。

自分の半径3mくらいの世界で過ごしていた私が、
世界の広さ、大きさ、面白さに触れて、変化していった。

プログラマーたちへ

プログラマーでも現実世界の一員になれる。XP によって、自分自身をテストすることができる。ありのままの自分になることができる。自分には何も問題はなく、付き合っていた仲間が悪かっただけということがわかる。

Note To Programmers

Even programmers can be whole people in the real world. XP is an opportunity to test yourself, to be yourself, to realize that maybe you've been fine all along and just hanging with the wrong crowd.

『エクストリームプログラミング』より

Rubyコミュニティに顔を出す



たくさんのRubyistに出会う



たくさん友達ができる



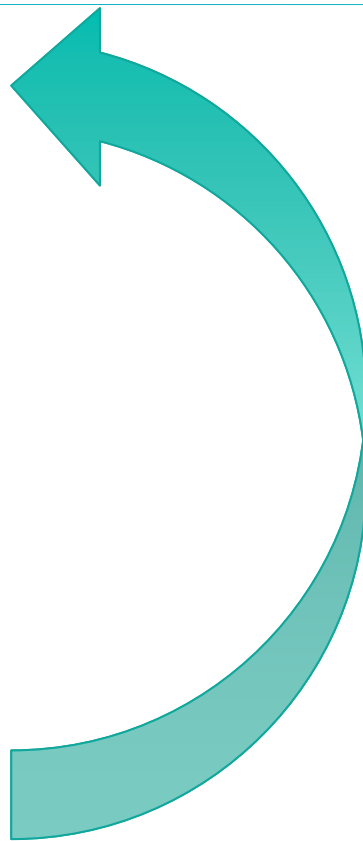
気づきを得る／背中を押してもらう



勇気を持って、一歩踏みだす！



いいことがある！！



- Asakusa.rbメンバーになる。
- 自作キーボードを作る。ルービックキューブやけん玉を嗜む。
- 日本酒、特に熱燗の美味しさに目覚める。(佐香やさんに感謝)
- エモリハウス、こたつハウス、やんちゃハウス住人になる。
- Rails Girls, More!に参加する。churb、PicoPicoRubyに参加する。
- RubyKaigiヘルパーになる。TokyoWomen.rb #1の運営に携わる。
- フィヨブーフアンブックをつくる。

→ 出来事そのものより、経験が財産。

- どこかで自信がなく、一歩引き気味だった私。
- 「やってやれないことはないかも！とりあえず、やってみよう。」と変化。
- 新しい何かに挑戦することへの恐れがあった。
やってみると意外と何とかなる。(お客様に直接ヒアリングしてみる等)

事業継続マネジメント(BCM)は、現実世界に向き合う分野。

- お客様ごとに重要業務も意思決定に必要な情報も異なり、どうしても柔軟なカスタマイズが必要になる。
- いつ起こるか分からない出来事に備えるため、十分な予算やリソースを確保するのは難しい。

小さなチーム×Rubyが現実に関わり向かう力になる。

- Rubyの読みやすさ/柔軟さとRailsの規約による秩序が活きる。
- 豊かなエコシステム、豊富な日本語情報。
- 小さなチームでも学び・改善を続けられる。
- 言語とコミュニティ(=技術と人)両面の良さが、現実世界の事業継続を支えている。

- Rubyとの出会いもRubyistになるのも比較的遅かった。それでも「現実世界の一員」になれた。出会えたことは奇跡。
- Rubyを活用して、ビジネスをもっと盛り上げて、「よりよい世界をつくる 一員」になりたい。Together!

RubyとRubyコミュニティとの出会いに
心から感謝しています。

I'm truly grateful for my encounter with Ruby and the Ruby community.

ITで、社会の願い叶えよう。



TIS INTEC
Group